屠殺場の次は「地域交流拠点」施設!?
なぜ市民に黙って計画を進めるのか!!
「住民に知らせる必要はない」など
言語道断だ!!

市民の声

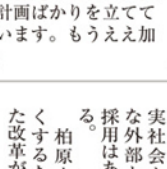
市民の方から以下のような投書が寄せられた。住民が知らないあいだに柏原市役所の駐車場内に「地域交流拠点」という施設の建設計画を進めているというのだ!!

広報紙でなぜ発表しないのか!?

「屠殺場の建設計画が、住民の反対や議員の先生方の追求で中止に追い込まれたことは、先日のニュース番組で知りましたが、その後また市役所の駐車場の中に『地域交流拠点』という施設の建設計画が進められている、ということが私たち住民の間で話題となっています。これは、本当なんでしょうか」という質問だ。

続いて、「なぜ、柏原市役所は、このような計画をいつも市民に黙って進めるのですか？『屠殺場』の件では、市役所の幹部の人が『計画は住民には知らせる必要がない、住民の代表である議員に計画を委ねればいい』と言ってましたね。ということは、今まで、これまでもずっといろいろな計画を私ども住民の知らないところで、市長と市役所、そして議員たちだけで、なんでもかんでも進めてきたのですか？」という怒りの内容である。

「これっておかしいですよね。だいたい『地域交流拠点』とは何のための施設なんですか？柏原市は毎月広報紙が発行されているわけですから、もし、このような施設が本当に市役所の駐車場に建設されるなら、その前にちゃんと説明してくれないのでしょうか」。



MBS「VOICE」より

岡本市長の独裁か!?
市民も見抜く
無計画な事業

もっともなご意見である。しかし、驚くべきことに、議員にも知らせず、岡本市長と市の職員の一部だけで行われていることが柏原市では起こっているのだ。

「『屠殺場』の件では、たしか、その計画を知らない議員もいたということでしたね。市の職員、岡本市長は、本当に何を考えているのでしょうか。どうして、こんな独裁みたいなことが起こるのですか。先生方ももっと頑張って市民のために、仕事をしてください。知らないでは議員失格です。

最近テレビでよく市長の顔が出てきますが、あれはもう、柏原市民の生活を預かる顔ではありませんね。市民として恥ずかしいです。

住民のあいだでは、『市長は特定の人物らと組んで、無計画な事業や建物の計画ばかりを立てている』といううわさも飛んでいます。もうええ加減にやめてほしいものです」。

これでいいのか! 人件費
副市長一人で年間約2300万円!
職員の時間外手当1時間約3千円!!

財政難の柏原市において、「人件費」は避けて通れない問題である。「かしわら見張り番」でもたびたび取り上げているが、民間とはかけはなれた高い、この経費を是正しなければ、柏原市の明日はない。

人口7万4000人なら副市長は一人で十分

副市長一人にかかる人件費をご存じだろうか。なんと年間約2300万円！地方自治法では、副市長はかならずしも置かなくてもよい。柏原市は人口わずか7万4000人の小さな地方都市であり、この規模であれば、副市長は一人でも十分機能するはずである。

今でさえ、柏原市は大阪府内2番目に職員の給料が高く（幹部職員が多い）、国家公務員の水準を超えていると国から勧告を受けている。ちなみに職員の時間外手当は1時間約3000円という高給ぶりだ。

こんな状況にもかかわらず、岡本市長はあくまでも二人目の副市長就任を要請する。このムダな人件費を削減しないと、赤字は増すばかりである。

柏原市ホームページより

縁故？天下り？副市長や職員採用の黒いうわさ

そもそも柏原市役所の職員の一部は、岡本市長の息のかかった人が採用されているというううわさが随分以前から飛び交っている。いわゆる「縁故」である。さらに前副市長辰巳氏は、体調不良を理由に1年半の任期を残し辞任したが、その後シルバー人材センターの専務理事に就任、柏原市議会の猛反対にあって副市長になり損ねた三浦氏は、サンヒル柏原の副支配人になっている。もちろん、2人とも今の仕事をやめるときには、退職金が支払われる。

これはどう考えても「天下り」としか思えない。

副市長は公募にする市ももっとコスト意識を持つべき！

働く人はみんな憲法に基づく法律で守られているが、50年以上も前に制定された「地方公務員制度」、これは見直すべきでないだろうか。

すべての職員がそうとは言わないが、危機意識が薄く、コスト意識も低い職員はやめてもらいたい。

奈良市では、今年、副市長を外部からの公募にしたことで話題を呼んだ。実社会を経験した公正な外部からのブレーンの採用はある意味うなずける。

柏原市も風通しをよくするためには思い切った改革が必要だ。

はまうら佳子の元気が出るコラム

なでしこジャパン、やりましたね！サッカー女子ワールドカップの決勝が気になって、早朝からテレビの前に陣取り、画面に向かって「よっしゃ～!!」「おっ、惜しい！」と、1人で叫んでおりました。

ほんまに優勝おめでとうございます。アメリカを相手に2度追いついて、PK戦を制したときは、思わずウルウルきました。日本代表チームができて30年だそうですが、主力選手のほとんどがアルバイトとの掛け持ちっていうから、ほんとによく頑張ったと思います。日本の女性は底力ありますわ。

女子サッカーって、スポーツマンシップに則っているし、わざとの反則はないし、いちゃもんつけの抗議はないし、ほんまにさわやかで、いっぺんでファンになりました。正直、男子サッカーって、見えないところで、「勝てばなにしてもええんや」ってちょっと卑怯なところがあるでしょう？

政治の世界でも、嫉妬深くて、汚いヤジを飛ばし、卑劣な手段を使うのは男性が多いと思います（もっとも、立派な大政治家もおられますヨ!）。これからは、ひたむきに一生懸命やる「女性政治家」の時代がやってくるはず、なでしこジャパンの勝利で私は確信しました。なでしこに負けないように頑張ります!

パトロール

特定非営利（NPO）法人「柏原ふる里づくりの会」（三宅義雄理事長）は、地域住民が、自らの知恵と創造性を結集し、里山の再生などを通じて、まちづくりの推進や自然環境を守ることを目的として結成された。また、魅力あるふるさとを創生し、住民福祉の推進や地域の環境保全と活性化の推進をはかる存在であることを掲げている。◆しかし、今回のイノシシ等の食肉加工施設の設立にかかわっていたことには、かなりの疑問が残る。においやダニなど数多くの問題をかかえる施設を、住宅街のまんなか、通学路の途中に計画するなど、まったく住民を無視したやり方ではなかったかと思う。◆柏原ふる里づくりの会に関して、先日、テレビに出ておられた副理事長がすべての采配をしているという噂など流れていた。今回は学識者である三宅理事長のお考えとは思われない行動であったと思う。市のNPO法人であるなら当然「住民重視」であるべきである。

みなさんの
声
募集中です。
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782
〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
info@change-kashiwara.com